



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年1月31日

上場会社名 株式会社鶴弥 上場取引所 東・名
 コード番号 5386 URL <https://www.try110.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部担当 (氏名) 満田 勝己 (TEL) 0569-29-7311
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,288	8.0	243	25.4	480	63.1	324	65.0
2024年3月期第3四半期	4,894	△8.8	194	—	294	—	196	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期第3四半期	42.67		—					
2024年3月期第3四半期	25.68		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	15,975	12,135	76.0
2024年3月期	15,843	11,891	75.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 12,135百万円 2024年3月期 11,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	3.00	—	2.00	5.00
2025年3月期	—	9.50	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	4.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,900	8.3	240	132.2	510	155.2	340	167.0	44.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	7,767,800株	2024年3月期	7,767,800株
2025年3月期3Q	244,916株	2024年3月期	112,916株
2025年3月期3Q	7,602,084株	2024年3月期3Q	7,654,884株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、緩やかな回復基調となる一方、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢による資源やエネルギー価格の高止まり、為替相場の変動、米国新政権の動向等、先行き不透明な状況が続いております。

また、当業界におきましては、持家着工戸数が前年同様依然として低水準で推移しており、物流コストや人件費高騰も建築コスト上昇を後押しし、高価格帯の注文住宅の需要減退要因となり、他素材と比較して高付加価値な屋根材である粘土瓦にとっては厳しい状況が継続しております。

このような経営環境のもと、当社では、2024年7月より製品価格の改定を実施し、適正取引価格の浸透を図る一方、能登震災の復興・復旧工事への対応や、瓦産業の振興と探求を目的とした、建築家向けのウェブメディア「ヒトツチ」でのトークイベントを開催するなど、営業活動、企業・製品のPR活動を推進した結果、売上高につきましては、前年同期比8.0%増の5,288百万円となりました。

一方、損益面につきましては、各種物価上昇の影響から、前年同期比で原材料をはじめとした費用増が幅広く製造原価を押し上げましたが、販売量に応じた柔軟な生産体制、人員の適正配置やエネルギー利用の最適化といった生産性向上に努めつつ、製品品質の向上や歩留改善にも引き続き注力して参りました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上原価率は、前年同期比0.8ポイント減の72.1%となり、売上総利益は前年同期比11.4%増の1,476百万円となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、継続的なコスト削減を行いましたが、物価上昇影響から、運送費や消耗品費、パレット費用等が増加し、前年同期比9.0%増の1,232百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高5,288百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益243百万円（前年同期比25.4%増）、経常利益480百万円（前年同期比63.1%増）、四半期純利益324百万円（前年同期比65.0%増）の増収増益となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期累計期間末の資産につきましては、現金及び預金の増加273百万円（前事業年度末比16.5%増）等があり、15,975百万円（前事業年度末比0.8%増）となりました。

負債につきましては、短期借入金の減少200百万円（前事業年度末比13.3%減）等により3,840百万円（前事業年度末比2.8%減）となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加237百万円（前事業年度末比3.7%増）等により12,135百万円（前事業年度末比2.1%増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて273百万円増加し、1,911百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、524百万円となりました（前年同四半期累計期間に比べ65百万円の減少）。

営業活動による資金の増加要因としては、主に税引前四半期純利益480百万円、減価償却費139百万円及び棚卸資産の減少額100百万円等によるものです。

一方、営業活動による資金の減少要因としては、主に賞与引当金の減少額85百万円及び仕入債務の減少額160百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は、82百万円となりました（前年同四半期累計期間は147百万円の使用）。

投資活動による資金の増加要因としては、主に固定資産の売却に係る手付金収入148百万円等によるものです。

一方、投資活動による資金の減少要因としては、固定資産の取得による支出68百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、334百万円となりました（前年同四半期累計期間に比べ295万円の増加）。
財務活動による資金の減少要因としては、短期借入金の減少額200百万円等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月5日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,650,385	1,923,512
受取手形及び売掛金	1,356,378	1,317,010
商品及び製品	1,036,567	938,640
仕掛品	59,638	62,699
原材料及び貯蔵品	156,982	151,340
その他	24,375	18,093
貸倒引当金	△8,617	△10,082
流動資産合計	4,275,710	4,401,214
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,106,384	9,106,384
その他（純額）	1,403,083	1,332,395
有形固定資産合計	10,509,467	10,438,780
無形固定資産	35,288	33,146
投資その他の資産		
その他	1,023,237	1,103,915
貸倒引当金	—	△1,210
投資その他の資産合計	1,023,237	1,102,704
固定資産合計	11,567,994	11,574,631
資産合計	15,843,704	15,975,845

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	327,792	248,110
電子記録債務	842,537	762,371
短期借入金	1,500,000	1,300,000
未払法人税等	60,008	93,771
賞与引当金	150,311	64,621
役員賞与引当金	—	5,857
その他	458,542	687,034
流動負債合計	3,339,191	3,161,766
固定負債		
退職給付引当金	196,606	177,889
役員退職慰労引当金	306,767	313,556
その他	109,455	187,063
固定負債合計	612,828	678,509
負債合計	3,952,020	3,840,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	6,388,872	6,626,491
自己株式	△53,434	△100,954
株主資本合計	11,446,763	11,636,862
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	444,920	498,707
評価・換算差額等合計	444,920	498,707
純資産合計	11,891,683	12,135,569
負債純資産合計	15,843,704	15,975,845

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	4,894,621	5,288,517
売上原価	3,569,084	3,812,300
売上総利益	1,325,537	1,476,216
販売費及び一般管理費	1,131,253	1,232,627
営業利益	194,284	243,589
営業外収益		
受取利息	8	234
受取配当金	18,578	21,422
受取賃貸料	73,597	85,776
受取保険金	2,060	139,351
その他	44,496	23,364
営業外収益合計	138,741	270,150
営業外費用		
支払利息	3,887	5,655
工場休止に伴う諸費用	12,874	12,184
不動産賃貸費用	14,040	10,123
その他	7,729	5,372
営業外費用合計	38,532	33,336
経常利益	294,492	480,404
税引前四半期純利益	294,492	480,404
法人税、住民税及び事業税	30,594	102,070
法人税等調整額	67,291	53,937
法人税等合計	97,886	156,007
四半期純利益	196,606	324,396

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	294,492	480,404
減価償却費	155,563	139,256
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△221	2,674
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△63,429	△85,689
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,500	△18,717
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	741	6,789
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	5,857
受取利息及び受取配当金	△18,586	△21,657
支払利息	3,887	5,655
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△627
受取保険金	—	△139,351
売上債権の増減額 (△は増加)	348,312	38,157
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△257,989	100,508
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,363	△160,242
その他	52,262	75,005
小計	555,897	428,023
利息及び配当金の受取額	18,586	21,610
保険金の受取額	—	139,351
利息の支払額	△4,700	△5,658
法人税等の支払額	△7,820	△58,401
その他	28,368	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	590,330	524,925
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△149,209	△68,007
固定資産の売却に係る手付金収入	—	148,700
その他	1,460	1,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,749	82,359
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△200,000
自己株式の取得による支出	—	△47,717
配当金の支払額	△38,228	△86,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,228	△334,158
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	404,352	273,127
現金及び現金同等物の期首残高	1,171,585	1,638,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,575,937	1,911,512

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は、粘土瓦の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

【固定資産の譲渡】

1. 譲渡の理由

経営資源の最適化の観点から、当社の保有する固定資産(土地)の譲渡を決定しました。

なお、本件実施による、当社生産能力への影響はございません。

2. 譲渡資産の内容

資産の内容・所在地	譲渡益	現況
土地：約25,872 m ² 愛知県知多郡阿久比町大字矢高字西の台3番地の一部分 (阿久比工場敷地内 出荷ヤード未使用部分)	約260 百万円	更地 事業用としては 未使用

※ 譲渡価額及び帳簿価額については譲渡先のご意向により公表を控えさせていただきます。譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額及び譲渡関連諸費用等を控除した金額です。

3. 譲渡先の概要

譲渡先は国内法人ですが、譲渡先のご意向により詳細の公表は控えさせていただきます。当社と当該譲渡先との間には資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者として特記すべき事項はありません。

4. 譲渡の日程

(1) 取締役会決議日	2024 年11 月12 日
(2) 契約締結日	2024 年11 月12 日
(3) 物件引渡日	2025 年7月末(予定)

5. 今後の見通し

2026年3月期にて当該固定資産の譲渡に伴う固定資産譲渡益として約260百万円を特別利益に計上予定となります。